

令和6年度第1回三木市創生計画策定検証委員会の概要

日時: 令和6年6月28日(火)

午後2時～午後4時

会場: 三木市役所 5階

大会議室

第2期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略（以下、「第2期創生計画」という。）について、令和6年度第1回三木市創生計画策定検証委員会（以下、「創生委員会」という。）を開催し、委員から意見をいただいた。

創生委員会における主な内容は、次のとおり。

説明事項

- ・ 第2期三木市創生計画 ～KPI集～

概要

令和5年度の各KPIの実績と、実績に係る検証及び今後の方針について報告し、令和5年度までのKPIの検証と第3期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略の策定方針について委員に意見を求めた。

主な意見

- ・ KPI集の感想において、人口が減少する中で、ゴルフ人口を上昇するのは無理があると感じる。
- ・ 外国人宿泊者数が右肩上がりである点については、目標に達成していないものの評価しても良い
- ・ 堺市の金物は外国人に好調のため、三木市にもチャンスがあると思う。
- ・ 金物輸出額、製品出荷額については、どうしてこの実績が出たのか要因を精査していくことが必要。
- ・ 企業団地開発の話があり、重要だと思う。
- ・ KPIの項目が多いと感じる。次期計画では、半分くらいでも良いと思う。
- ・ 今後、企業誘致は大切だと思う。三木の市内に産業として根付くようなプランが大事。大学生向けの企業誘致、資金、人材、実証フィールドの三点が必要。新しい技術を導入するための実証フィールドを手に入れるのに苦労している企業は多い。
- ・ IOT等を組み込んだ、農業やごみ処理などをしていくといいのではないかと思う。例) 丹波市での農業のスタートアップなど。

- ・既存産業についてカーボンニュートラルの考え方が、今後ヨーロッパ向けに輸出する際に、必要となってくる可能性が高い。
- ・障がい者教育についても関わっており、その部分がしっかりと書かれているのはいいことだが、図書館の使用が芳しくない、もう少し、アプローチした方が良いのではないか。
- ・海外からの宿泊先と目的地、観光資源に来ているかの確認の情報分析が必要であると感じた。個人旅行なのか、集団なのか。移動手段とのリンク。仕組みづくりがあると良いのではないか
- ・金物出荷額と円高円安の分析をしていくことが必要。単年の要因ではなく、複数年度にわたった分析を記載してほしい。
- ・山田錦の作付面積、農業所得の増加の要因分析があればわかりやすい。
- ・商店街の舗数の増加にはなっていないが、空き家は減っている。これをどういう風にとらえて、施策をどうするのか。この数値は参考にならないので見直した方が良い。
- ・公共施設の管理面積。目標値としての的確でない。(減少した面積) / (減らすべき面積) としていかないと意味がない。
- ・なぜ、電気の使用料が 17%減少したのか、ということをも明記しないと意味がない。
- ・いずれにしても、原因があり、結果があるような KPI の書き方にしてほしい。
- ・5つの商工会の会合が開かれた。ゴルフ、山田錦、自転車、学校再編成の話が加東市長からでた。特に学校の再編成に特徴ある魅力をつけていくと聞いた。
- ・農業の作付面積、農業所得のなかで、農地を売りたいという相談が多い。農業を真剣に考えて行かないと持たない。ゴルフと同様に柱建てしてはどうか。
- ・全国的な三木のポジションを比較できる指標があると良いのではないか。手段が目的化しないような他自治体、全国比較があるとよいのでは。
- ・地方創生にどうかかわれるのか。安心して暮らし続けられるまちとは。健康であり続ける。生活に困らない。三木健康アプリクーポン機能の連動。民間ツールの活用を進めてほしい。アプリ登録者数を KPI に追加するのはよいと思う。
- ・買い物に困らない地域を維持することが大切。公共交通と買い物支援を組み合わせたほうが良いと考える。民間インフラの充実と公共インフラの充実を掛け合わせた事業構築が必要。行政が主となったネットワーク組織が

るとやり易い。民間同士の連携はハードルが高い。ネッツトヨタ×コープ丹波篠山ではあるが、人間関係から生まれた。コンソーシアムによる民間をつなぐ仕組みを創るとよいのではないか。

- KPI64 項目は多いと感じる。関係のある KPI をまとめる。組合せや、組み替えてわかりやすくした方が良いのでは。
目標を達成するには、何をすべきという形にできれば良いと思う。
- 自転車は国土交通省が力を入れている。観光サイクルツーリズムに関する KPI があっても良い。
- 地域をよくするという事は地道な活動が重要。市が主体的に能動的に実施している事業とそうでないものの仕分けが必要。
- KPI の数字を実数で示してほしい。
- ひょうご情報公園都市 2 期の話を書いてほしい。神戸と小野市の企業誘致のデータを活用したニーズ把握と分析を基に誘致ターゲットと輸送手段と道路インフラのリンクが必要になる。
- 三木市は元気な高齢者が多く保険料が少ない。
- 多文化共生について、三木市在住の 2 千数百人の外国人市民をどうまとめるのか検討してほしい。
- KPI にはサービスを受ける側の市民しかいなく、プレーヤーとしての市民がいないのか。協力しながら、施策を進める側の市民の方が、入っても良いのではないかと思う。
- 三木市はゴルフを核としたまちとしているが、値段が高い。行きやすくなればいい。コンペにすると行ける部分もある。
- KPI は数が多い。分かりやすく組み合わせる、コントロールできるもの、そうでないものを仕分けするなどの必要がある。
- アジャイル型政策形成の方が良いという傾向がある。政策の中身をよくするために、評価しては微修正を繰り返すような政策形成をしていくことが必要だ。
- 大切なのはビジョンであり、どこに向かっているのか。こういう方向にやっっていこう、していこうということが大切。総合計画も同様。
- 評価は適宜しながら、施策を進めているということを示すのが大切。
ビジョンは、人口減少等の成約があるのを受け入れながら設定していく必要がある。
- デジタル推進計画が法改正された。民間事業者と協働することが大事。市役所の DX について、市町 DX パッケージご活用いただき時間のかかる地道な DX をしていく必要がある。

- ・ KPI はブレイクダウンの仕方が大切になる。KPI 達成と目的の一致が大切。